



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

東

上場会社名 株式会社一蔵

上場取引所

コード番号 6186

URL <https://www.ichikura.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河端 義彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理本部長 (氏名) 岡田 孝二 (TEL) 03-5297-5151 (代表)

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,917	△0.8	△466	—	△438	—	△334	—
2026年3月期第1四半期	3,947	△7.9	△605	—	△628	—	△458	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △364百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △513百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△60.58	—
2026年3月期第1四半期	△83.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	17,359	2,270	13.1	410.70
2026年3月期	17,593	2,712	15.4	490.65

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 2,270百万円 2026年3月期 2,712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	7.00	—	8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	20,206	3.9	331	—	302	—	177	32.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	5,531,006株	2026年3月期	5,531,006株
2027年3月期1Q	2,706株	2026年3月期	2,706株
2027年3月期1Q	5,528,300株	2026年3月期1Q	5,513,657株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

2026年8月12日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2026年4月1日から2026年6月30日まで)におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善を背景に、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇の長期化による消費者マインドの低下に加え、中東情勢の緊迫化などの地政学リスクを背景としたエネルギー価格、原材料価格及び物流コストの上昇が、企業収益や国内景気に与える影響が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、「日本文化をもっと身近にする」、「私たちのおもてなしを世界に広げる」、「世の中を楽しく変えていく」という経営理念のもと、経営資源の選択と集中、コスト構造の見直し及びDX化の推進に取り組み、収益力の向上と事業運営の効率化を進めてまいりました。

(和装事業)

和装事業におきましては、市場環境の変化に合わせ、店舗網の機動的な見直しを進めております。また、デジタルツールを活用した集客施策へのシフトを推進し、広告宣伝費の適正化を行ってまいりました。加えて、「いちくら青春応援!PROJECT」において、SNSを活用して高校生を中心とした若年層に振袖の魅力に触れる機会を提供し、きもの文化の普及・啓発を図ることで、将来の顧客層の開拓及び中長期的な顧客基盤の形成に取り組んでまいりました。

このような取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,052,265千円(前年同四半期比2.1%増)、セグメント損失は68,046千円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の受注残高は6,418,943千円(前年同四半期末比10.9%増)となっております。

(ウエディング事業)

ウエディング事業におきましては、国内においては、フォトウエディング等の多様化するニーズに対応した新たなスタイルへの取り組みを進めております。また、広告媒体ごとの集客効果を継続的に検証し、媒体の最適化を進めてまいりました。加えて、式場施設の各種イベントでの活用や、テレビドラマやミュージックビデオの撮影等により稼働率を向上させ、収益機会の創出に取り組むとともに、認知度の向上及びブランディングの強化につなげてまいりました。

しかしながら、挙式の施行組数が減少したことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は865,308千円(前年同四半期比9.7%減)、セグメント損失は203,141千円となりました。

なお、中国の2つの結婚式場のうちの1つである「嘉美麗徳高端婚礼会館 虹橋店」の資産を2026年6月30日付で譲渡し、当社による運営を終了したことから、当第1四半期連結会計期間末の受注残組数は、938組(前年同四半期末比0.5%減)となっております。

(全社)

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高3,917,573千円(前年同四半期比0.8%減)、営業損失466,058千円、経常損失438,874千円、親会社株主に帰属する四半期純損失334,923千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は17,359,345千円(前連結会計年度比1.3%減)となりました。

流動資産の残高は10,142,285千円(前連結会計年度比3.3%減)となりました。これは主に仕掛品が141,609千円増加した一方で、現金及び預金が487,174千円、売掛金が40,760千円減少したことによります。

固定資産の残高は7,217,059千円(前連結会計年度比1.6%増)となりました。これは主に建物及び構築物(純額)が71,556千円減少した一方で、建設仮勘定が43,120千円、繰延税金資産が132,452千円増加したことによります。

負債につきましては15,088,860千円(前連結会計年度比1.4%増)となりました。

流動負債の残高は12,982,254千円(前連結会計年度比2.6%増)となりました。これは主に買掛金が119,322千円、1年内返済予定の長期借入金が46,199千円、未払法人税等が33,081千円、その他(流動負債)が113,002千円減少した一方で、短期借入金が120,000千円、前受金が532,598千円増加したことによります。

固定負債の残高は2,106,605千円(前連結会計年度比5.4%減)となりました。これは主に長期借入金が128,263千円減少したことによります。

純資産につきましては2,270,484千円（前連結会計年度比16.3%減）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失334,923千円を計上したこと、配当金77,396千円を支払ったことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月13日の「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました、2027年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,288,259	4,801,084
売掛金	901,343	860,583
商品	2,003,418	2,019,473
レンタル商品	1,409,391	1,413,273
仕掛品	394,449	536,059
原材料及び貯蔵品	78,663	97,573
その他	417,694	414,237
流動資産合計	10,493,220	10,142,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,069,561	3,998,005
土地	864,081	864,081
建設仮勘定	2,030	45,151
その他（純額）	195,189	192,734
有形固定資産合計	5,130,863	5,099,972
無形固定資産		
ソフトウェア	108,160	109,916
その他	73,685	69,969
無形固定資産合計	181,846	179,885
投資その他の資産		
投資有価証券	100,000	100,000
出資金	20	20
長期未収入金	146,960	146,960
敷金及び保証金	1,246,313	1,258,646
繰延税金資産	432,830	565,282
その他	8,489	13,252
貸倒引当金	△146,960	△146,960
投資その他の資産合計	1,787,654	1,937,201
固定資産合計	7,100,364	7,217,059
資産合計	17,593,584	17,359,345

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	771,507	652,185
短期借入金	3,180,000	3,300,000
1年内返済予定の長期借入金	593,011	546,812
未払金	439,652	435,822
未払費用	321,131	310,999
未払法人税等	44,120	11,038
前受金	7,013,739	7,546,338
預り金	64,216	66,669
賞与引当金	1,200	—
その他	225,392	112,389
流動負債合計	12,653,970	12,982,254
固定負債		
長期借入金	747,945	619,682
資産除去債務	469,585	470,671
繰延税金負債	864	828
退職給付に係る負債	677,291	685,811
その他	331,467	329,612
固定負債合計	2,227,153	2,106,605
負債合計	14,881,124	15,088,860
純資産の部		
株主資本		
資本金	52,875	52,875
資本剰余金	1,981,408	1,981,408
利益剰余金	634,526	222,206
自己株式	△27	△27
株主資本合計	2,668,782	2,256,462
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	43,677	14,022
その他の包括利益累計額合計	43,677	14,022
純資産合計	2,712,460	2,270,484
負債純資産合計	17,593,584	17,359,345

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,947,830	3,917,573
売上原価	1,543,432	1,515,101
売上総利益	2,404,398	2,402,472
販売費及び一般管理費	3,009,652	2,868,531
営業損失(△)	△605,254	△466,058
営業外収益		
受取利息及び配当金	661	285
受取手数料	383	451
受取保険金	1,437	—
為替差益	—	34,619
その他	3,039	6,872
営業外収益合計	5,522	42,229
営業外費用		
支払利息	13,504	13,129
為替差損	14,322	—
その他	1,071	1,916
営業外費用合計	28,899	15,046
経常損失(△)	△628,630	△438,874
特別利益		
固定資産売却益	6	—
特別利益合計	6	—
特別損失		
固定資産除却損	339	156
減損損失	20,414	17,342
特別損失合計	20,753	17,498
税金等調整前四半期純損失(△)	△649,377	△456,372
法人税、住民税及び事業税	11,287	11,038
法人税等調整額	△202,525	△132,487
法人税等合計	△191,238	△121,449
四半期純損失(△)	△458,139	△334,923
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△458,139	△334,923

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△458,139	△334,923
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△55,854	△29,655
その他の包括利益合計	△55,854	△29,655
四半期包括利益	△513,993	△364,579
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△513,993	△364,579
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(棚卸資産に係る収益性低下の見積りに関する変更)

当社グループは、一定の保有期間を超える棚卸資産については過去の実績と同程度まで販売や消費の実現可能性が低下していると仮定し、当社及び各連結子会社の実態に応じた滞留年数ごとに設けた評価減割合を乗じて帳簿価額を切り下げる方法を採用しております。

生地品質向上により劣化スピードが遅くなったこと、売価の変動が少ないこともあり、当第1四半期連結累計期間から、棚卸資産の公正な評価額をより適切に反映させるために、減額開始経過年を従来の3年から5年へ変更することといたしました。

この結果、従来の方法と比べて、当第1四半期連結累計期間の売上原価、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失が41,855千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装事業	ウェディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,989,261	958,569	3,947,830	—	3,947,830
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,989,261	958,569	3,947,830	—	3,947,830
セグメント損失(△)	△283,701	△139,199	△422,901	△182,352	△605,254

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△182,352千円は本社管理費であります。

2. セグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「和装事業」セグメントにおいて、店舗の撤退を決定したことにより、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、20,414千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装事業	ウェディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,052,265	865,308	3,917,573	—	3,917,573
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,052,265	865,308	3,917,573	—	3,917,573
セグメント損失(△)	△68,046	△203,141	△271,188	△194,869	△466,058

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△194,869千円は本社管理費であります。

2. セグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「和装事業」セグメントにおいて、店舗の撤退を決定したことにより、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、17,342千円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	137,110千円	109,365千円